



ヤングアダルト

YA 本研究会だより 2020.9vol.3



■収穫多し

実りの秋にふさわしく、今回のピフリオバトルで紹介された本は、夏目漱石やグリムの昔話に恋の話とバラエティにとんでいました。

そんな中でチャンプになった本は！？

👑 「15歳のテロリスト」 👑

(KADOKAWA)メディアワークス文庫 松村涼哉著 未所蔵

あらすじ

突然の犯行予告のあとに起きた新宿駅爆破事件。容疑者は渡邊篤人。たった15歳の少年の犯行は、世間を震撼させた。

★なぜ15歳の少年がテロを起こしたか。衝撃の結末です。ぜひ読んでみてね。



<その他紹介された本>

絵本「夢十夜」「カゲロウテイス」「幽楽町おぼけ駄菓子屋」「グリムの昔話」「アリス殺し」

「14歳、明日の時間割」「ほんくら陰陽師の鬼嫁」

「ハチミツみたいな恋じゃなくても」



■昔話論争

「『グリムの昔話(1)』(童話館出版)には、恐ろしい話がたくさんでできますが、同じ題材を扱ったディズニー童話では、残酷な場面は除かれています。ある委員が、原書に近いグリムの昔話は、ドキドキしながら最後まで一気に読めてしまう」と紹介してくれました。例えば、シンデレラのもととなったおはなし「灰かぶり」では、意地悪な娘の足が、王子様のもつ靴には大きすぎるので、娘の母親は、その足の指や踵を包丁で簡単に切ってしまう。靴の中は血で一杯になる。そんな場面が、結構出てくるのです。そこで、「じゃあディズニーと原書とどっちがいいの？」と質問すると「小さい頃はやんわりと。でも少し大きくなって筋がわかるようになったら、悪はしっかり教えた方がよいので原書に忠実に。」(YA委員談)とのことでした。



読書週間 YA本 貸出大作戦

■ 11月3日(火・祝)「YA本で楽しむおうち時間」(12時~13時は除く)
読書週間のYA本研究会の取り組みとして、11月3日にYAコーナーの本を借いた方に先着順でYA本研究会特製のしおりや可愛いマスクケースをプレゼントします。

- ①図書館本館2F YAコーナーに行く
- ↓
- ②茶色のラベルの本を選んで、児童カウンター(2F)にゆく
- ↓
- ③くじをひく(しおりかマスクケースが当たるよ!)
- ↓
- ④くじに書かれたものと交換

茶色の
背ラベル



■ YA本テーマ展示

11月3日まで「あいえな~い話」
11月4日から「異世界」というテーマで本を集めて展示します。



ではでは
See you
next battle !

